

神戸日豪協会

KOBE JAPAN-AUSTRALIA SOCIETY

設立目的	日豪両国間の文化の向上と経済の発展に努め、両国民の親善と会員相互の親睦を図る。
会の特徴	プログラムはすべてホームステイをベースにしており、また、オリエンテーションにも力を入れている。つまり、教育プログラムであることが特色である。
連絡先	〒651-0084 神戸市中央区磯辺通4-2-8 KIMMビル7階 TEL : (078)252-0576 FAX : (078)252-0347 代表者 会長 太田 敏一
設立年月日	1972年1月26日
会員数	313人(2002年4月現在)
入会条件	協会の趣旨に賛同し、参加して頂ける方。
活動内容・時期	<ul style="list-style-type: none"> ○ワトルの会(月例会)月1回 ○日本語補助教員派遣(大学生/社会人)1年(1月下旬~12月上旬)(20歳以上~29歳以下)VIE(6校)、QLD(3校)、WA(1校) ○クイーンズランド・ユース・オーケストラ(Q. U. O)神戸公演受入れ1997年1月~ ○訪豪プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・ブリスベンでの日豪関係100年記念祭に参加、及び神戸日豪協会25周年記念として各地を訪問 1997年6月 ・ブリスベン市・神戸市姉妹都市提携15周年記念式典に参加及びリズモア市サザンクロス大学で開かれた日本映画祭に参加 2000年8月 ・パース市で開かれた西オーストラリア州・兵庫県姉妹州・県提携20周年記念式典に参加 2001年10月 ・神戸・ブリスベン友好姉妹都市提携25周年記念交流団 2010年10月8日 ・シドニー交響楽団 来神 芸術文化センター KOBE LEO大ホールにて 2012年3月11日 ・「神戸国際フェア2012」に参加 2012年3月11日 ・神戸日豪協会は、オーストラリアの学校に日本語教師のアシスタントとして20~29歳の青年たちを派遣しております。その中の1つ「Geelong Grammar School Corio Campus」の生徒たちが三月(2011年)に起こった東日本大震災の被災者に人類未曾有の大災害からの復興への祈りを込めて、折鶴を3000羽送ってくれました。2002年にオーストラリア・パースの「クライスト・チャーチ・グラマー・スクール」への派遣生が偶然にも宮城県一関市で特定非営利活動法人ワールド・ジャパンにて東日本大震災緊急復興支援の仕事をしていたので、彼にお願いして南三陸町の被災児童の支援所と被災した防災対策庁舎のお供え所を持って行ってもらいました。
刊行物	会誌「ワラビー」(月1回)、会報「かんがりあ」(不定期)「モンティ100年の青春/人生は未来を秘めて」「阪本勝著作集」神戸日豪協会25年誌「心の懸け橋」
メッセージ	異文化との交流は、人間性成長に重要な要素でありますから、出来るだけ多くの人に体験してほしいと思います。また、私どもの会は、会員の会費で運営されておりますので、会員になって頂ける方を大歓迎です。